

施策番号	2104		
施策名	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり		
概要	山間部や市街地をはじめ市内の各地で、民間活力の導入や都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進することにより、歴史や伝統に裏打ちされた地域の資源を生かしたまちづくりを進める。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に係る主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン，職住共存地区整備ガイドプラン，新・京都市南部創造まちづくり推進プラン，らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム，京都駅南口周辺地区まちづくり指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	地区計画，建築協定及び景観協定の締結数（件）	d	d	136	141	4件増	125.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		d	d	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない			
1	身近な地域が魅力的になっている。	c	c	57	202	267	68	50	644	c	
				8.9%	31.4%	41.5%	10.6%	7.8%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c	

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数としており、少なくともこれらの地域では地域の個性を生かした魅力的なまちづくりが展開されていると判断されるが、全てのまちづくり活動を捕捉したものではないため、身近な地域が魅力的か否かを全般的に捉えられる市民生活実感調査を優先している。						平成30年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市内各地で都市計画手法の活用を含めた多様な施策を総合的に推進しており、それに伴い各地域で自主的なまちづくり活動が行われているが、まちの態様の変遷には時間を要するため、現在のところ市民の実感を得るには至らず、c評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	大学を核とした山ノ内浄水場跡地活用の推進	1,873	1,873	—	総合企画局
2	西陣を中心とした地域の活性化	0	29,521	—	総合企画局
3	岡崎地域活性化ビジョンの推進	40,847	31,198	良い	総合企画局
4	京都駅西部エリアの活性化	34,262	30,815	良い	総合企画局
5	京都駅東部エリアの活性化	0	20,264	—	総合企画局
6	京都駅東南部エリアの活性化	22,334	22,558	かなり良い	総合企画局
7	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	2,962	2,169	—	総合企画局
8	北部山間かがやき隊員との協働による地域活性化の推進	57,734	59,946	良い	文化市民局
9	北部山間地域への移住促進事業	31,112	37,097	悪い	文化市民局
10	京都市醍醐駐車場	43,781	49,404	—	都市計画局
11	京都市醍醐交流会館	58,981	61,893	—	都市計画局
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後も、より「身近な地域が魅力的になっている」と市民に実感していただけるよう、魅力的なまちの実現に向けて、都市計画手法の活用を含む多様な施策を総合的に推進するとともに、地域住民に身近な区役所とも連携しながら、市民のニーズを的確に把握し、各地域特性を活かした個性豊かで魅力的なまちづくりを地域住民と共に進める。

・(公財)京都市景観・まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり				
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2－3 5 0 3		
1 指標の説明						
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数						
2 指標の意味						
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	136	141	5件増	4件増	令和2年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（平成23年度から155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	125.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。						
7 評価結果						
平成29平成30令和元						
d d a						